

マレーシア工科大学・筑波大学共同主催「藻類研究シンポジウム」が開催

平成 25 年 12 月 17 日に筑波大学およびマレーシア工科大学 (UTM) が共同主催する藻類シンポジウムが UTM Johor Bahru (マレーシア・ジョホールバル) で開催されました。このシンポジウムは本学が実施している最先端の藻類研究を紹介すると共に、藻類研究における日本・マレーシア間の連携関係の構築を目的として行われたものです。筑波大学、北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)、マレーシア工科大学およびマレーシア日本国際工科院 (MJIIT) から合計 30 名が参加し、研究発表、研究情報の交換、今後の共同研究の可能性に関する議論を行いました。本学からは、白岩善博生命環境系長、岩本浩二企画室准教授、甲斐田直子システム情報系助教および本澤まゆ美生命環境エリア支援室専門職員 (マレーシア連携チームリーダー) が参加し、研究発表の他 UTM の教職員と交流しました。また、本澤まゆ美専門職員と甲斐田助教が国際部を訪問し、学生交流協定書の伝達を行った後、Ho Chin Siong 教授 (UTM 国際担当部長) と面談し、事務的連携を含めた総合的な連携構築が行われました。

シンポジウムでは、Zulkifli Yusop 教授 (土木工学部研究担当学部長) と Abdull Rahim bin Mohd Yusoff 教授 (UTM 環境水資源管理研究所長) から UTM と筑波大学との連携への期待が語られた他、参加大学から合計 12 題の研究発表が行われました。本学関連では白岩系長、岩本准教授、甲斐田助教、杉浦則夫筑波大学特命教授 (MJIIT 教授) から藻類バイオエネルギーや、水資源等に関する発表が行われました。さらに、関連研究室や学内施設の見学が行われ、総合討論では研究発表を受けて今後の連携や共同研究等をいかに進めるか具体的な議論が交わされました。最後に、山本隆司 MJIIT 副院長の挨拶と Abdull Rahim bin Mohd Yusoff UTM 教授から記念品の贈呈が行われ、シンポジウムは成功裏の内に閉会しました。

(記事: 企画室准教授 岩本浩二)



(白岩善博生命環境系長による研究発表の様子)



(Zulkifli Yusop
土木工学部研究担当学部長の挨拶)



(微細藻類培養施設の見学の様子)